

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	6	0	0	規定は満たしてはいるものの、運動をするには狭く感じるの否めないところ。現状、広くするのは難しいので2店舗目を選ぶ際は広さを重視の予定。
	2	職員の配置数は適切であるか（加算申請をしている場合は基準を満たしているか）	6	0	0	全日基準達成している。
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	よりバリアフリーが必要な状況になった場合、必要に応じて対処していく。
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付など）	6	0	0	蛍光灯は飛散防止フィルムで覆っている。柱や角の緩衝材はすぐに剥がされたり破損されるので、破損の都度修繕。
業務改善	5	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	3	2	0	朝の打ち合わせと、その日のパート職員が帰る前に、5分でも良いので当日の振り返りを全員に発表し、日報に記録する取り組みを始めました。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	ミーティング時に公表し、結果を共有の上、改善点を話し合いました。
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	0	昨年度のアンケートはHP公開済み
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	0	顧問社労士より、今後は実施する必要性はあるが今はその段階にないとのこと。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	毎月の研修は、参加できないスタッフも全員動画では目を通してもらうよう促す。
適切な 支援の 場	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	担当スタッフを交えて支援者会議を行ったり、外部の関係機関とも連携しながら広く意見を集め、客観的に作成できるよう工夫している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	今後、柳澤運動プログラムの段階表を用いてより詳細に各児の運動レベルを見極め、更に計画に沿った支援に発展させていく。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	日々実施し、試行錯誤している。
	13	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	6	0	0	毎月こどもプラスからの情報を柱に、利用児のレベルに合わせて取捨選択等工夫するようにしている。
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5	1	0	そのようにしたい。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	現実に即した計画にし、達成可能な目標をスモールステップで組み立てるようにしている。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	毎日社員で大枠を決め、パートスタッフが到着後、MTG実施。

6
0
0

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
提供	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	5	1	0	送迎や早帰りのスタッフも居るため、全員必ず本日の気付きを振り返り発言してもらい、日報に反映するようにした。
	18 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	日々実施し、試行錯誤している。
	19 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	心がけている。
	20 安全に運動遊びができるよう用具の使用 方法や支援方法等に工夫や配慮しているか？	6	0	0	日々実施し、試行錯誤している。
	21 お子さんの特性に合わせた支援方法を 個々に工夫しているか？	6	0	0	現実に即した計画にし、達成可能な目標をスモールステップで組み立てるようにしている。
	22 ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	5	0	0	心がけている。
関係機関や保護者との連携	23 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	シフト体制で難しい場合もあるが、出来るだけそのようにしているし、参加出来ない場合はSNS等で聞いたり、別日に意見を求めたりしている。
	24 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	学校や他デイを含めて支援者会議を行なうようにした。
	25 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	1	0	該当児なし
	26 与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか	1	1	1	該当児なし
	27 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	0	今後行っていきたい。
	28 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	1	0	該当児なし
	29 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	0	すぎな愛育園主催の研修に参加、および療育センターや子供家庭支援センターに情報共有を求め、必要な療育を検討している。
	30 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	1	1	1	特にコロナ禍により難しいところではあるが、公報掲載のイベントに数回参加実績あり。
	31 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	1	今後行っていきたい。
	32 写真付の連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	6	0	0	ノート形式の連絡帳は廃止、よりメリットの多いライン公式アカウントにてタイムラグを少なく報告している。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	ラインでの活動報告や引き渡し時に、当日の様子や出来るようになったこと、困りごとへの工夫等を共有していくよう心がける。
	34 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	0	今後行っていきたい。
保護者への説明責任等	35 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	契約時に同席してもらい、契約の流れを各スタッフに共有しつつある。
	36 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	日々の対話や面談を通してより信頼関係を構築していく。
	37 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	0	コロナ禍で開催を控えめにしてしまったが、要望もあるので、オンラインでも今後は定期的実施したい。
	38 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	心がけている。
	39 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	0	ライン公式アカウントにて、適宜一斉送信の形で月報やお知らせを流している。
	40 個人情報に十分注意しているか	6	0	0	心がけている。
	41 HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	6	0	0	写真の使用場面を想定した複数の質問に対し、可否、モザイク、後ろ姿のみ、などの選択解答で同意を頂いている。
	42 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	絵カードや一律の箇条書き用シートを使用したり、トーン、スピード、ボディランゲージ等工夫している。
	43 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	1	子ども食堂の実施経験あり。かき氷屋さんを開催し地域の人に振る舞うなど実施
	非常時等の対応	44 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0
45 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		6	0	0	毎月、曜日を変えて各災害、不審者対応等想定して実施。
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		6	0	0	実施している。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか		6	0	0	虐待防止研修及び必要な場合に身体拘束同意書を取得している。
48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		6	0	0	医師の指示書は提出義務は無いが、聞いているアレルギーの食材は提供しないようスタッフ間に共有している。

事業者向け**放課後等デイサービス自己評価表**

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
49	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	終業後ショートMTG時に当日のヒヤリハットがあったかスタッフ間で共有。日報にも記載して、出勤したら必ず目を通す。

総評

全てのスタッフに情報共有できるような仕組みづくりで、チームワークを大切に、療育に集中できる環境を整えてまいります。

(代表下會所)

